



「留萌市連携プロジェクト」～留萌高校卓球部×札幌大学

留萌高卓球部は、昨年3月開催の第51回全国高校選抜卓球大会では、女子団体戦で5位に入賞するほどの強豪校ですが、どんな仕掛けがあるのかを紹介します。

札幌大学卓球部は学生コーチを留萌高校に派遣しています

【実績】 6/7(金)-6/9(日)9/20(金)-9/23(祝月)1/10(金)-1/13(祝月)※合宿5/3(祝金)-5/6(祝月)

本気の高校生と本気のおトナがいる

金須 渚(3年)

今年度3回、留萌市の練習に行かせていただきましたが、そこで感じたのは学生の集中力の高さ、そして意識の高さでした。1日の練習を通して1度も集中力を途切れさせることなく取り組んでおり、何かわからないことがあればお互いにアドバイスし合う、監督である松下さんにアドバイスをもらうなど、強くなりたいという気持ちが強く伝わってきました。僕も留萌市での練習を通じて刺激を受け、もっと頑張らなきゃいけないと思うことができました。



高校生の集中力がとにかく凄いです

高橋 大策(3年)

今年度2度、留萌市へ派遣という形で練習に行かせていただきました。過去にも何度か行っていますが毎回感じるのは、行くたびに留萌の選手が大きく成長していて、とても刺激を受けています。そして今回、女子の高校生4人が全員、全日本卓球選手権大会の代表権を得るという素晴らしい成績を残し、とても嬉しく思っています。練習をしているなかで自分達でしっかり考えながら練習をしており、他の高校生にはない高い集中力を感じます。

地域のために行動するサツダイであり続けたい



札幌大学卓球部
藤倉健太監督

今年度締結した包括連携のもと、ゴールデンウィークの留萌合宿、市民向け講習会開催に加え、卓球プロジェクトへの学生サポート派遣を年3回行うことができました。

相互の競技力向上はもちろんですが、それ以上に高校生や中学生との交流を通じ、回を重ねるたびに学生達が人として大きく成長させていただいていると感じています。運動部活動の地域移行が進むと同時にそれに伴う課題が山積みななか、今回の取り組みを指導者不足の解消や、次世代の指導者育成に繋げていけるように発展させながら、継続していきたいと思えます。

